

# ③5金武湾港海岸(ギンバル地区)の供用開始式典

土木建築部

実施主体: 沖縄県土木建築部 海岸防災課・北部土木事務所、金武町

実施時期: 令和4年8月 ~ 9月

<50周年記念事業のテーマ>

4 令和4年度に着工又は完成(一部完成)し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自律的な発展を推進する。

## 事業内容

県において取り組んできた金武湾港海岸ギンバル地区の海岸環境整備事業が令和4年8月に完成・供用することから、復帰50周年記念事業として、供用開始式典を行うとともに、金武町と連携・協力し海開き等のイベントを行う。



## 復帰50周年記念事業としての意義・効果

ギンバル訓練場跡地一帯は、美しい海岸線やマングローブが群生する億首川、田芋や稲などの水を湛えた田園風景が広がる豊かな自然環境にあることから、那覇新都心地区、北谷町桑江・北前地区のような新たな商業地・住宅地などの都市拠点づくりと異なり、金武町は地域の特性を活かした「ウェルネスの里づくり」をテーマとして跡地利用を行っている。ギンバル地区海岸環境整備事業の供用開始式典と海開きを復帰50周年記念事業として実施し、駐留軍用地跡地利用の効果として広く県民にアピールする。

また、供用開始式典において、復帰後50年間の海岸整備の変遷及び、駐留軍用地跡地の利用状況に触れることで、県のこれまでの取り組みを効果的に情報発信する。

【予定する情報発信方法】

- 供用開始式典・海開きの実施
- 式典会場での展示パネルの設置
  - ・復帰後50年間の海岸整備の変遷
  - ・整備前後のドローン写真
  - ・駐留軍用地跡地利用状況 等
- 金武町広報誌等への掲載
  - ・町、県、及び民間による整備内容
  - ・駐留軍用地跡地利用状況 等

